



当識と素材 を取り戻すための

自主ゼミ 2019 vol.6

*「見当識」⇒ 時間や場所など今自分がおかれている現実をきちんと把握すること。(広辞苑)

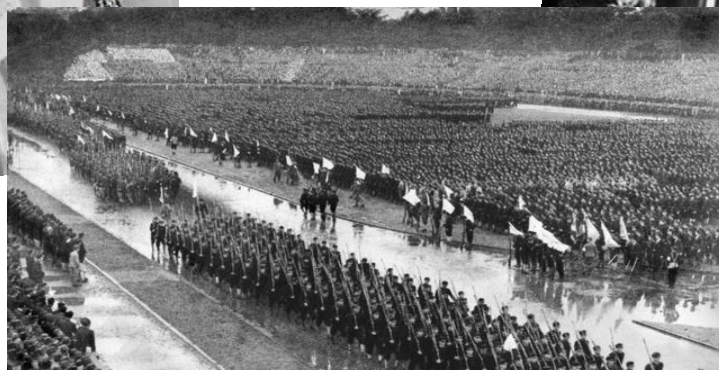
1943年10月21日

神宮外苑 国立競技場

軍靴を響かせる男子学生

それを見送る女子学生

75000人の学生たち



命を守る行動のこと

憲法と身体はどのように関係するのか？ 私たちの身体は、2019年11月現在どのような環境に置かれているのか？ 11月の自主ゼミでは、NHKのドキュメンタリー「学徒兵 許されざる帰還」を見て、学徒動員された学生たちがたどった中でも最も過酷な体験をした特攻兵の証言に耳を傾けながら、大日本帝国憲法下で身体=命がどのように扱われていたのか学んだ後、夏のどらま館のイベント「憲法と身体」で体験したことを踏まえて、わたしたちの「身体=命」のあり方を考えたいと思います。自然災害からだけでなく、再び戦中を目指す流れから「命を守る行動」を取るためにはどのような視点が必要なのか、桃山商事の清田代表と語ります。皆さま、お誘い合わせの上、気軽にお越し下さい。

 **11月26日(火) 19:00 – 21:00 くらい**

早稲田大学戸山キャンパス 33-231 教室

どなたでも！聴講自由！途中参加あり！ 文芸ジャーナリズム論系・水谷ゼミ主催